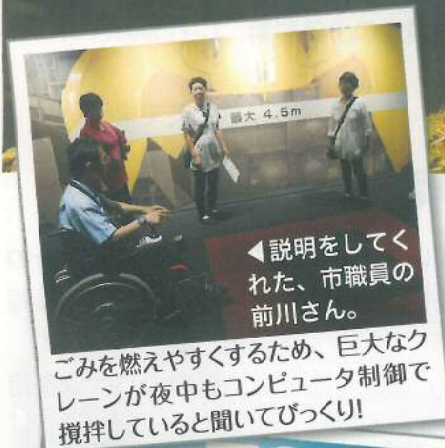


## 特集！ みんなで きれいに 海蔵地区

うわー！  
すごいなあ～！



◀説明してく  
れた、市職員  
の前川さん。

ごみを燃やすやすくするため、巨大なクレーンが夜中もコンピュータ制御で攪拌していると聞いてびっくり！



生ごみの水分を、あとひと絞り (65cc) すれば、1ヶ月で約マイナス70トンも、ごみを減らせるんですって！

おばちゃま：ここに、四日市市の可燃ごみ・破碎ごみ・粗大ごみが集められているんですか？

前川さん：はい。破碎ごみや不燃性の粗大ごみは、高速で回転する破碎機で、細かく砕いて、その中に含まれる、可燃ごみと鉄・アルミに分けます。可燃ごみは、燃やすというより、約1800度という高温の溶融炉で溶かしてしまいます。

おばちゃま：以前は、ダイオキシンなどの有害なガスが問題になることもありましたが、今はどうですか？

前川さん：その問題も、溶融時に無害化されていくので、心配ありません。しかも、溶かしたものは、最終的にスラグとメタルに生まれ変わって、リサイクルされるんですよ。

おばちゃま：溶融炉から出る熱は、何かに使っているんですか？

前川さん：熱を利用して、発電をしています。この施設の電気は完全にまかなえていて、余った電力約9,000世帯分は電力会社へ売電しています。

おばちゃま：すごいですね。とても上手に考えてありますね！

**おばちゃま、ごみ事情を調査する！**  
平成28年4月から、四日市市のごみの分別が大きく変わりました。今までは、「もやさないごみ」として分別していたビニールや靴まで、今は「可燃ごみ」として、週に2回出せるようになっていきます。  
そこで、おばちゃま探検隊は垂坂町に新しく完成した「四日市市クリーンセンター」を見学に行きました。

## おばちゃま探検隊、自治会長さんにインタビューする

海蔵小学校の周辺に、気になる「黄色い箱」を見つけたおばちゃま探検隊。  
東阿倉川二区の自治会長さんに、お話を伺いに行きました。

おばちゃま : あの黄色い箱は、何ですか？

自治会長さん : 津市にある鉄工所さんが、特許を取っている「タタメール」という折たたみ式のごみ箱なんです。  
今までも、子どもさんたちが通学をしている道路に、ごみ置場がありました。普段は、たたんでおけるので邪魔にならなくていいので採用しました。  
東阿倉川二区では、半分くらいのごみ置場で、設置に協力してもらえました。

おばちゃま : 本当に、うまくできてますよね。開くのも軽くて簡単にできるし。「可燃ごみ」の日の朝一番に出しにくる人が、開いて、ごみを置いていくんですね。

たたむのは、誰がしているんですか？

自治会長さん : 「可燃ごみ」を収集していくときに、たたんでもらってます。

おばちゃま : そうなんですなー。

自治会長さん : もうひとつ、良かったことがあるんです。今までは、カラスが生ごみを散乱させることがありましたが、これを設置してからは、まったくカラスが来なくなりました。

おばちゃま : そうそう！カラスって結構大きいんで、通学してる子どもさん達も怖がっていたんですね。カラス避けにもなって、便利ですね！



## おばちゃま探検隊、自治会長さんにアンケートする

各町の自治会では、ごみの収集場所の管理をいただいています。  
そこで、平成28年4月から分別方法が変わったことに伴った対策や、「ごみ問題」について、自治会長さんにアンケートを取りました。

### 周知など工夫をしていました



分別方法が変わることによって各自治会が行った対策 (複数回答)

- 多くの自治会長さんが、収集場所に分別方法や曜日が変わった事をわかりやすく掲示していました。また、周知をするために、新しく看板を設置している所もありました。
- その他の回答の中には、「乾電池」を入れるために専用のバケツを用意した自治会もありました。  
「乾電池」は二週間に一度、缶やビンなどと一緒に資源物として出しましょう！
- 「可燃ごみ」として出せるものが多くなったことから、収集場所の広さについても、アンケートを取ったところ、「狭い・やや狭い」が半数ほどありました。

## ルールが守られていないことがあると回答が・・・

布団や、化粧品のビン・スプレー缶などが間違っで出されていたり、ペットボトルのキャップやラベルを外していないものなど、ルールが守られていないことがあるそうです。その場合、複数の自治会では、一旦持ち帰って物置などで保管してもらっていました。分別方法については、市から配布されている「ごみガイドブック」を確認して、一人ひとりがルールを守りたいですね！

## 第14回身近な自然を体験する県民デー 11月13日(日)

毎年11月に、三重県内各地で「身近な自然を体験する県民デー」が開催されます。

海蔵地区では、社会福祉協議会の事業として、自治会が中心となり、組長をはじめ地域の多くの人たちが協力して、海蔵川と三滝川の周辺を毎年清掃しています。



当日は、気持ちのいい秋晴れの中、各町ごとに範囲を決め、ごみを集めました。また、ごみの分別も協力して行いました。あわせて桜の枯れた枝なども、剪定しました。



皆様のご協力のおかげで、草や小枝などの可燃ごみの他に、たくさんの破碎ごみ・ビン・缶が集まりました。



分別されたものには、扇風機やトースター、マットやタイヤなども！



## 山手中学校クリーン大作戦 11月25日(金)

クリーン大作戦は、山手中学校の校区内で、1999年から実施されている清掃奉仕活動です。生徒・教師・保護者・地域住民が、ともに活動を行い、環境美化の意識を高めることを目的としています。

期末テストが終了した日の午後、町ごとの決められた場所に集合し、グループでゴミを分別しながら集めました。



3年連続参加の3年生生徒は、「毎年、ゴミは同じ場所に、かたまって落ちています。煙草の吸殻、お菓子の袋が多かったですね。みんなで拾った後は、気分爽快です。」

担当の先生は、「住民のみなさんが、普段から町をきれいにしていることがわかりました。生徒たちは嫌がらず、素直にゴミを拾い、楽しみながら、町をきれいにできたように思います。」

参加した保護者の方は、「初めて参加しましたが、意外にゴミがたくさん落ちていたなと思いました。普段歩くことのない狭い道を歩き、会話を楽しみながらまわられてよかったです。」

自治会長さんは、「生徒の一人ひとりが捨てる人ではなく拾う人になってほしいという思いを持っています。今、自治会では、環境問題に力をいれているので、生徒と一緒に環境美化について考えていけたらうれしいです。」などの感想を述べていました。

集めたゴミをトラックにのせたみなさんの顔は、さわやかで、みな輝いていました。



社協だより

出あい  
ふれあい  
語りあい

# 海蔵



平成28年度も  
事業へのご協力を  
ありがとうございました

海蔵川桜まつり  
3月20日(日)～4月10日(日)



堀川菖蒲まつり  
5月29日(日)～6月12日(日)



ニュースポーツ大会  
6月26日(日)

小学生から高齢者まで、  
様々な年齢の65名が4種目  
のニュースポーツを楽しみ  
ました。



高齢者と園児との交流会  
6月30日(木)

海蔵保育園の年長児とひとり暮らしの高齢者が木製うちわに絵を描いたり、七夕飾りをつくり、一緒に楽しく給食を食べました。



福祉体験教室  
9月24日(土)

山手中学校の土曜授業と連携して、一年生と先生、地域からの参加者で、車椅子、歩行器、高齢者体験などに取り組みました。



高齢者と園児との交流会  
10月24日(月)

海蔵幼稚園児とひとり暮らしの高齢者が、歌をうたったり、お遊戯を楽しみました。



地区連合運動会  
10月30日(日)

前回は雨天中止となったので、3年ぶりに行われた地区連合運動会。秋晴れの中、1600名を超える老若男女が、体を動かしながら楽しい一日を過ごすことができました。



小学生のみんなと育てたサツマイモを焼き芋に。すぐ完売しました!

まちかど花いっぱい運動  
11月3日(木)

花部のみなさんが中心となって、パンジーと肥料の配布を行いました。海蔵地区のあちこちで、かわいらしいパンジーが咲いています。



第14回  
身近な自然を体験する県民デー  
11月13日(日)

海蔵地区の皆さんの力で、小枝を含む可燃ごみが220袋も集まりました。



福祉講演会  
12月9日(金)

みんなで支え合う「地域包括ケアシステム」づくりについて30人の参加者が勉強会を行いました。



第26回グラウンドゴルフ大会  
12月11日(日)

例年よりも遅い時期でしたが、穏やかで暖かい日の開催になりました。年齢も様々な、83人の皆さんがワイワイおしゃべりしながら体を動かしました。



# H28年度市内最多生徒数 山手中学校!!

市内ベスト3 1位 山手 702名  
2位 常磐 698名  
3位 朝明 640名



山手中の校内がとてきれいなのは、毎日の熱心な雑巾がけの成果ですね。

PTA主催デイハイク霞★「ゆめくら」まで往復。ゴールでチョコレートが隠し味の絶品カレー 600食完食!



祝 東海大会出場



楽しく分かりやすい授業で生徒一人ひとりがいきいき学習しています。



部活動では数々の輝かしい成績を!



笑顔と希望にあふれる学校

## 加藤公章校長にインタビュー!!

今年度、一新した「学校づくりビジョン」に基づき、山手中の新たな取り組みや目標を伺いました。『先ず、目指す学校像は、生徒に笑顔と希望を持ってほしい、保護者と夢を語ってほしいと願い【笑顔と希望にあふれる学校】としました。私は山手中の新たなイメージを知ってもらい、地域の皆さんから良い生徒たちだと認めてもらいたいと願っています。次に、目指す生徒像は、自分や周りの人たちを大切にしてほしい。美しいもの(人の心、自然、音楽など全てのもの)に感動してほしい。そして、社会的自立のためには、各人が挨拶を大切に、役割を担って全うすることを職場体験や保育実習などのすべての学校教育活動で学んでほしい。家庭生活の中でも、社会での役割を担う意味を学んでもらいたい。』『生徒数が多いメリットは、何と云っても活気があり、そして、98%の生徒が規律を守っていると回答するほど、節度があること。是非、地域の人に、生徒たちを見てもらいたい!』など校長先生の熱い思いは、この紙面ではとても伝えきれませんが、その思いは生徒たちに伝わり、今朝も、「おはようございます!」と我が家の前を生徒たちが通っていきます。「毎日拭き掃除をしています。」と言う通り、廊下や階段は今まで見たどの学校よりピッカピカでした。地域住民として山手中卒業生の一人として今後も見守ってゆきたいと、整然と片付いた玄関を後にして、元気のおすそわけを頂いたひと時でした。頑張れ山手中!!

## 山手中総合的な学習 3W(サンダブ)とは

3Wとは『私たちの願いが蜘蛛の巣のように張りめぐらされ、波のごとく広がるように』という思いを込めて名付けた総合的な学習の名称です。

We(私たち)  
Web(蜘蛛の巣)  
Wave(波)



### 地域学習 1年生



11/15  
歴史、産業、防災、福祉、国際交流、伝統文化の6グループに分かれ、施設訪問やフィールドワークを行い、各自が地域の良さを新たに発見!!

### 職場体験学習 2年生



9/27 ~ 9/29  
市内73の事業所の協力を得て、3日間の職場体験学習。白衣を着て仕事をしている様子は、本当に本物の薬剤師さんのようですね。

### 若生会との交流 3年生



11/15  
ニュースポーツと豚汁づくりで交流。若生会の方は生徒のお礼の合唱に感激!!生徒のみなさんは横断幕のエンジェルに感動!!

## 堀川菖蒲園

地域住民による水辺環境の保全活動を支援するため、市町村が行う「身近な水辺環境事業」に対し、環境庁の補助制度が創設され「堀川菖蒲園整備事業」を海蔵地区が要望し、全国で13か所採択された中の一つとして、平成7年から8年にかけて事業が実施されました。

事業が承認される5年ほど前から、当時運営されていた「海蔵地区地域社会づくり推進委員

会」では、花の栽培を通じて、地域の環境美化を図ろうと、海蔵市民センター近くで、農地を借り、「菖蒲」の栽培をする一方、肥培管理、菖蒲の特性を習得するため、各地の菖蒲園への見学を行っていました。

こうした地域の熱意が、全国でも数少ない指定を受ける要因となり、事業がすすめられ、平成9年6月の開園につながりました。現在は、「海蔵地区社会福祉協議会 花部」の渡辺部長以下30名の部員の方々に、管理をお願いしています。

### <冬場の花部のみなさんの活動>



6月の「菖蒲まつり」を目指し、毎月の除草、株分け、植え付け、養土の入れ替え作業、日々の水量管理をしています。

### 今後の管理運営の課題

- 現在の部長はじめ部員の多くの方々が高齢化しており、今後の管理(苗の株分け、植え付け等)ノウハウを、受け継いでいただける部員の確保、また、海蔵地区内各種団体より、参加していただいている部員の方々は、地区社会福祉協議会の組織見直しが検討されていると聞いており、今後も参加していただけるのが心配である。一人でも多くのボランティアの参加を、待っています。
- 来園者も多く、障がい者用のトイレの新設を望んでいます。

一度、手をぬけば、荒地、沼地になるのは目にみえています。日々の部員のみなさんの地道な活動が、開花へつながっていることを、切実に感じました。

海蔵地区に造られた「菖蒲園」、地区の財産として、維持、管理していきたいものです。

### 花部のみなさんに、お話をお聞きました

一番の喜びは、来園者の方々に、「きれいな花」と言っていただくことと、「菖蒲まつり」に合わせて開花した咲き誇る花を見たときには、これまでの苦勞が報われました。

28年度の「菖蒲まつり」は、NHK、三重テレビの放映があり、まつり期間中には、カウントした時間帯だけで3千人の見学者が訪れ、延べ4千人余りの、来園者があったと思われます。



渡辺部長

### 菖蒲まつり開催



# 海蔵小学校の南校舎が改築されます

南校舎は、昭和40年に新設された後、45年に職員室等が増築され、今日までたくさんの児童を育てできました。卒業生の皆さんには、様々な思い出があることでしょう。南校舎は、2階・3階がベランダ方式の外廊下となっていることから、地域では改築を要望してきました。

市においては、市内のこの方式の校舎の改築を順次進め、この度南校舎の改築が実現する運びとなりました。平成28年度に基本設計を終え、29年度には実施設計が行われ運動場に仮設校舎が設置されます。30年度に着工し、完成は32年度の予定です。



どんな校舎になるのかな？  
楽しみだな！

## 阿倉川駅 バリアフリーに！

みなさんが  
利用しやす  
くなります

市の海蔵地区都市計画マスタープラン（地域・地区別構想）に掲げられている「阿倉川駅と駅前の整備」について、海蔵地区まちづくり構想・都市計画マスタープラン推進委員会（略称：海蔵地区都市マス委員会）では、市と協議・検討を行っています。その一環として、阿倉川駅が駅のバリアフリー化基準の「1日の乗降者数が3,000人以上」であることを受けて、駅舎からプラットフォームまで、バリアフリー化が実現することになりました。近畿日本鉄道（株）が事業主体となり、国・三重県・四日市市が協調補助して取り組まれます。平成28年度に設計が行われ、29年度に着工、30年度に完成する予定です。



【現在：階段を経て地下通路で繋がるプラットフォーム】

《利用者の声》 私は脳性麻痺で杖歩行をしています。

通学、通勤にずっと阿倉川駅を利用していましたが、階段には苦勞していました。エレベーターが設置されて、トイレが使いやすくなることは、障がい者だけでなく妊婦さんや高齢者の皆さんが安心して利用できます。阿倉川駅の利用者の皆さんが待ち望んでいたことで、感謝したいと思います。心から「待ってました！」と叫びたいです。これをきっかけに、みんなにとって安心・安全の心優しい街づくりに繋がると私は感じています。

## バリアフリー化の概要

- ①上り線プラットフォーム（名古屋方面）の乗降者用に、改札口奥から同ホームへスロープが新設されます。
  - ②下り線プラットフォーム（四日市方面）の乗降者用に、現在の地下通路の2か所にエレベーターが新設されます。
  - ③障がい者対応型トイレが新設されます。
  - ④プラットフォームの線路側に、内方線付き点状ブロックが整備されます。
  - ⑤券売機の下が蹴込整備されます。（車椅子使用者が利用しやすくなります。）
  - ⑥触知案内図（目が見えない方を点字で案内します。）が整備されます。
  - ⑦誘導チャイム（目が見えない方を音で案内します。）が整備されます。
  - ⑧現在の地下通路は、出入口の階段に手摺りが設置されて、下り線プラットフォームに繋がります。上り線プラットフォームと繋がる階段は閉鎖となります。
- ※両プラットフォームの追越し退避用線路は廃止され、転落防止柵が新設されます。  
《この概要は、原稿作成時点（平成29年2月時点）での計画です。》

